

実技検査の受け方

機 械 科

1 指示があるまで、下の解答用紙や問題用紙を見てはいけません。

2 持ってきた用具を確かめなさい。

- (1) シャープペンシル1本以上（芯は、0.5mmのHB）
- (2) 三角定規 1組
- (3) 目盛りのついた定規（15cm程度、三角定規でもよい）
- (4) コンパス
- (5) 消しゴム

3 この実技検査では、答えはすべて解答用紙にかきなさい。

4 指示があったら、解答用紙（2枚）と問題用紙（1枚）を全部調べなさい。

解答用紙と問題用紙はすべてオモテだけに印刷してあります。もし、枚数が足りなかったり、やぶれていたり、印刷のわるいところがあったりした場合は、手をあげて監督の先生に言いなさい。そのあと、指示に従って解答用紙2枚ともに受検番号をかき入れてから始めなさい。

5 検査時間は45分です。20分過ぎたときと、残り5分になったときに、監督の先生から連絡がありますから、検査中に時間をたずねてはいけません。

6 解答用紙の定められたところに、線や図などをかき入れて答えるようになっていますから、まぎらわしい線や文字や数字をかいたり、ワクの外にはみだしてかいたりしてはいけません。

また、解答以外の線は消しゴムを使ってきれいに消しなさい。

7 解答用紙のいちばん上に印刷してある

※

 には、なにもかいてはいけません。

8 解答用紙は、いっさい持ち出してはいけません。

9 早く終わった人は、終了の指示があるまで静かに待っていなさい。

問 題 用 紙

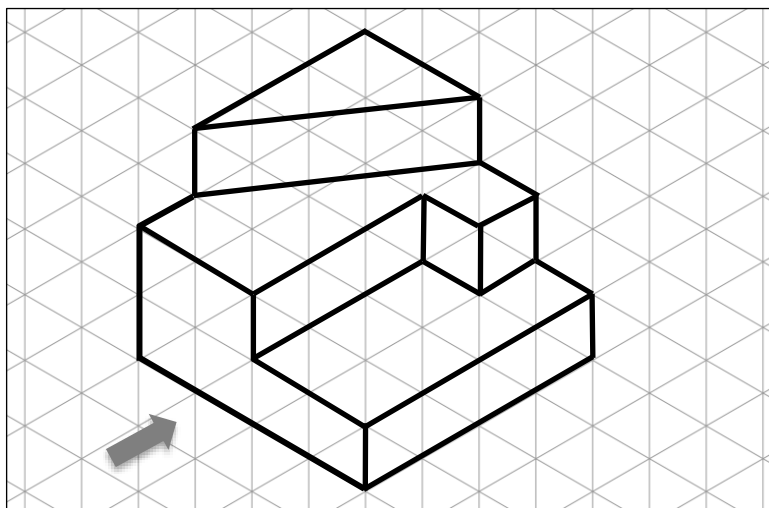
機 械 科

- 【1】 基準線 A B から矢印の方向へ 20mm, 35mm, 70mm, 90mm, 120mm 離れた位置に基準線 A B と平行な線をかきなさい。

ただし、平行な線は基準線 A B と長さ・太さ・濃さが等しいものとし、線の上端は基準線にそろえなさい。

- 【2】 下の図のような立体（等角図）があります。この立体について矢印の方向から見た場合を正面図としてかき、さらに平面図・右側面図をかきなさい。

ただし、大きさは斜眼紙の 1 目盛りを方眼紙の 1 目盛りとして考えなさい。



- 【3】 下の図のような立体（キャビネット図）があります。この立体をすでに記入されている点 A を使って等角図でかきなさい。

ただし、寸法は方眼紙の 1 目盛りを 10mm とします。

なお、かくれて直接見えない線はかかなくてもかまいません。

